

学校教育目標

心豊かで たくましく いつも進んで学ぶ子
 具体目標（目指す児童）
 ○美しいもの、善いものに感動し、相手を深く思いやることができる心豊かな児童を育成する。
 ○心身ともに健康で、何事も最後までやり通すことのできる児童を育成する。
 ○自ら課題を見つけ、自ら学び、よりよく問題を解決することのできる児童を育成する。

目指す学校像

○児童が安全・安心に学ぶ中で成長する学校
 ○保護者、地域から信頼される学校
 ○教職員が心身とも健康で、やりがいを持って働く学校
 学校経営の方針
 ○心理的安全性を向上させ、児童が楽しい学校生活を送れるようにする。
 ○学習活動と生徒指導の基盤となる学級経営の充実を図る。
 ○学校園間の連携を図り、子供の育ちや学びのつながりを意識した支援を行う。
 ○家庭と連携し、児童の望ましい生活習慣の確立と健康な体の育成を図る。
 ○教科の指導と生徒指導を一体化させた児童主体の授業づくりを推進する。
 ○家庭と連携した発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。
 ○学校運営協議会を中心とした地域とともにある学校づくりを推進する。

目指す教師像

○児童のよりよい成長を願い、教育活動に尽力する教師
 （カウンセリングマインドで児童と向き合い、師弟同行で共に汗を流す）
 ○保護者、地域の方と良好な信頼関係を築ける教師
 （保護者、地域の方の思いの共有）
 ○教育公務員としての高い倫理観をもった教師
 （教育公務員としての自覚と誇り）
 ○迅速に真摯な姿勢で丁寧な教育活動を展開する教師（丁寧な取組と対応）
 ○専門性を高めようと努力する向上心の高い教師
 ○「量から質へ」を意識して業務改善に努める教師
 （前例、慣行、経験に固執しない創意工夫による業務改善）

本年度の努力点

○毎月のなかよしアンケートやhyper-QU等による児童理解と生徒指導サポート委員会において気になる児童の情報を共有する。
 ○生活習慣に関わるアンケートを活用して、児童の実態の把握と改善に努める。 ○学校だより、学校保健委員会等により生活習慣に関わる課題について、児童・保護者へ啓発をする。
 ○校内研修に関わる協働的な学びを意識した授業づくりを進める。 ○学校だよりを通して保護者への発達段階に応じたキャリア教育の理解を深める。
 ○キャリア教育の全体計画及び年間指導計画に基づいたキャリア教育に関わる授業の充実。
 ○毎月19日「家族でいただきますの日」を親子で将来の夢や希望について話し合う機会とする。
 ○公民館と連携しながら学校が必要とする新たな地域人材を発掘する。 ○PTA行事、地域の行事、公民館事業を通して児童が多様な人と交流する機会を設定する。

①生活や学びの基礎の育成

○一人ひとりのよさや可能性を引き出す指導・支援の充実
 ・子供の思いや気持ちに寄り添うこと（カウンセリングマインド）を大切に
 にした支援の充実
 ・「好きなこと」「やりたいこと」に夢中になって取り組む場の設定
 ○望ましい生活習慣の確立と健康な体の育成
 ・自らの健康や安全について気づき、考え行動できる児童の育成
 ・早寝・早起き・朝ご飯等の基本的生活習慣の確立と食育の推進
 ・日常的な運動への取組を通じた健康な体の育成
 ・インターネットやSNS等の正しい使い方に関わる情報モラルの向上
 ・保護者と生活や学びの基礎に対する考え方の共有
 ○危険を予測し回避できる安全教育・防災教育の充実
 ・危険や危機を事前に把握し、未然に防止するための安全教育の充実
 ・学校施設の危険箇所の把握と速やかな修繕による施設管理の徹底

②豊かな心の育成

○自己肯定感・自己有用感を育む学年・学級経営
 ・「ほめる」「認める」「励ます」「信じる」支援を通して、目標に向けて自信をもって粘り強く取り組む力の育成
 ・児童の内面や学級の実態の的確な把握と児童と教師の信頼関係の構築（児童とのよりよい関係づくりの1ヶ月）
 ・一人ひとりが活躍できる場や機会の意図的な設定
 ・QUを活用した教師と児童がともに創る温かい学級づくり
 ○児童の理解を基にした誰一人取り残さない支援の充実
 ・児童の個性やよさ、可能性を把握し、一人ひとりに合った支援の充実
 ・児童の小さな変化にも敏感に気づき、迅速な対応を心がける。
 ○学校生活の基盤となる生徒指導の充実
 ・日常的な発達支持的生徒指導を通して、児童の成長を促す支援を行う。
 ・学習・生活規律の徹底（学校の決まり、日常的に行われる教育活動の意味の理解）
 ・生徒指導の機能を生かした授業の実践
 ・いじめ・不登校等の未然防止、早期発見、早期対応を組織的に行う。

③確かな学力の向上

○自律した学習者を育てる指導の充実
 ・「教師主導」から「児童主体」の授業への転換
 ・「なぜ」「やってみよう」「調べてみたい」を大切にしたい学びの目標設定の工夫
 ・子供の学習状況の的確な見取りと個に応じた支援の充実
 ・「分かった」「できるようになった」を実感する学びの振り返りの充実
 ○考え表現する力の育成
 ・授業の中心課題について自分の考えを表現する活動の充実
 ・考えの交流による学び合いを通じた授業の展開
 ・NFTや全国学力学習状況調査の結果分析による授業の改善・充実
 ・ICTの効果的な活用を明確にした授業実践
 ○家庭学習を通じた学びの習慣化
 ・授業に連動した家庭学習（宿題）の工夫
 ・自分で考えた自主学習の推進
 ・読書活動の推進

④共生社会を創る力の伸長

○一人ひとりの夢や希望を実現するキャリア教育の充実
 ・多様な人々と出会い、様々な生き方に触れることを通して、将来の夢や希望を描けるようにする。
 ・キャリアパスポートを活用した日々の学習の振り返りとその蓄積
 ・キャリア教育の全体計画及び年間指導計画に基づいたキャリア教育の充実
 ・発達段階に応じたキャリア教育の理解を深める。
 ・毎月19日「家族でいただきますの日」を親子で将来の夢や希望について話し合う機会とする。

○学校と地域の連携・協働の推進

・ふるさと伊勢崎への誇りや愛着、社会の一員としての自覚の育成
 ・学校運営協議会を核とした地域との連携・協働
 ・人権教育の充実を通じた多様性を尊重し認め合う心の育成
 ・公民館と連携しながら学校が必要とする新たな地域人材を発掘する。
 ・PTA行事、地域の行事や公民館事業を通して児童が多様な人と交流する機会を設定する。